

## 札幌新まちづくり計画市民会議

### ビジョン作りの討議に当たっての提案（中島洋）

選挙ではないが、わかりやすい具体的なコピーをつけよう！

例えば、思いついたのを以下にあげてみます。

#### （経済・雇用）

「まだ、誰もがやっていない、新しい仕事を応援しよう！」

お金にならないと思われていた事業、はみ出し事業、隙間のニッチマーケット、  
お金より、心の豊かさ、生きがいを求めるコミュニティ・ビジネス、  
NPO、市民事業、

#### （共生のまちづくり）

「新しいものと古いものが同居できる街を創ろう！」

「80年間続く、人づくり、ものづくり、建物づくり」

コミュニティが続いている町、かけがえのない気持ち、記憶が残っている町  
古いものを再活用していくことを応援しよう！ 住居、店舗、仕事場、文化拠点  
人の一生 80年のスローな成長の町

#### （緑と環境）

「円山のキタキツネが大通りをとおって豊平川へ遊びに行くような街を創ろう！」

緑を守り、緑をふやしていこう。どこかに象徴的なグリーンベルトを作ろう。

#### （芸術・文化）

「市民が使ってこそパブリック、誰もが使える公共施設にしよう！」

公共施設は、季節や時間に関係なく誰もが使えて初めてパブリックなのです。

一般の人は使っちゃダメ！は全く逆の発想、あらゆる規制の緩和を、

学校、役所、区民センター、その他、NPO、文化的教育的拠点を提供、そこから、札幌の文化を発信しよう、⇒ICCのようなNPO的拠点を増やそう

とりあえず、会議の4項目をコピー風に思いついたものをあげてみました。このように強制ではなく、あらかじめ参加者が簡単なメモを持ち寄るほうが合理的と思います。誰かのレポートを基に討議を始めるのでは、せつかくの市民参加がもたないような。また、分科会の途中で、一旦全体会を持ったほうが柔軟になっていいと思います。取り急ぎ、提案です。